

令和8年度体力づくり推進計画 ＜全体計画＞

達成目標

- 「体を動かすことが好き」と答える児童の割合を8割以上にする。
- 「上体起こし」において、男女とも県平均値かつ全国平均値以上にする。

学校の状況

- ・市郊外に位置し、児童数およそ300人弱である。
- ・運動場は、児童が運動するのに十分な広さであるが、全校児童が一斉に活動する際には運動が限定されてしまう。

児童生徒の運動・生活習慣の実態

- ・「運動や体育の授業をすることがあまり楽しくない、楽しくない」と答える児童の割合が8.6%である。(前年比3.24%↓)
- ・「運動や体育の授業をすることが楽しい」と答える児童の割合が64.1%である。(前年比3.8%↓)

新体力テスト、アンケート調査等調査結果との比較から

- 男子
- ・「上体起こし」「立ち幅跳び」は県平均値かつ全国平均値より低い。
- 女子
- ・「上体起こし」は県平均値かつ全国平均値より低い。

実態把握

児童生徒の実態や新体力テスト等から明らかになった課題

- ・運動に苦手意識をもつ児童に運動習慣を確立させ、運動の意欲を高めるために、体育科授業の充実とともに、遊ぶ時間の確保や場の確保、遊び方の指導等、全校で組織的に取り組む工夫が必要である。
- ・家庭でも運動を行うようにさせるために、家庭学習の中に体育的活動を位置付ける等、家庭との連携の中で生活全般を見直す工夫が必要である。
- ・規則正しい生活習慣を身に付けさせるために、「睡眠時間の確保」「バランスのよい食事」「メディア等との正しい付き合い方」について学級懇談会や通信等で、家庭へ呼びかける必要がある。

課題解決に向けた取組事項

- ① 体育科での取組 (保健安全部を中心に)
 - ・体づくり運動を中心に、日頃経験しない動きを意図的に行わせるようにし、基礎的な運動感覚を身に付けさせる。(みながんピック、みながトレーニング)
 - ・授業の導入で、雰囲気高める運動を行うことで運動の楽しさを味わわせ、運動に親しむことができる児童を増やす。(みながトレーニング)
 - ・スモールステップで取り組める協働学習の場を充実させることで、児童が達成感を得られるようにする。
 - ・体育科の校内研修を行い、全教職員の指導技術の向上を図る。
- ② 児童会体育委員会の活動推進
 - ・児童が自発的に企画・運営し、目標をもって外遊びをし、体力を向上しようとする機会と場を設定する。
- ③ 運動機会の保障
 - ・月1回のクラス遊びを推奨し、体を動かす機会を保障する。
 - ・5月の運動会、3月の全校大縄クラスマッチに向けて、クラスごとに練習し運動する機会を増やす。
- ④ メディア等との正しい付き合い方に関する生活改善について、家庭への情報発信(学級懇談会、保健だより、学年だより等で全校で取り組む)
 - ・メディア等の利用時間や睡眠を中心に、自分の生活習慣を見直すことを通して、自分の健康実態に関心をもたせるようにする。また、保護者へ生活を改善するための情報発信を積極的に行う。

期待される効果

- ・体育科の時間が楽しみになり、運動が好きな児童が増える。
- ・新体力テストの結果が向上する。
- ・休憩時間に外で遊ぶ児童が増え、毎日体を動かす児童の割合が増える。
- ・自分の体や健康に関心を持ち、生活習慣を整えようとする児童が増える。

体制

- ・保健主事・保健安全部が中心となり、カリキュラム・マネジメントに基づいた体育科授業の計画・実施、創造を行う。全教職員で研修の機会をもち、全校体制で体力の向上に努める。
- ・月1回保健安全部会を開催し、情報の共有や児童の体力向上への取組推進を図る。
- ・児童会体育委員会の指導を通して、児童自らが体力向上のための活動を行うことができるようにする。

推進組織

令和8年度体力づくり推進計画

<年間指導計画>

東広島市立三永小学校

様式②

達成目標

- 「体を動かすことが好き」と答える児童の割合を8割以上にする。
- 「上体起こし」において、男女とも県平均値かつ全国平均値以上にする。

